



令和7年度 中郡小学校だより

くすのき



R7.6.16

大切な私 大切なあなた ～命について考える月間 ①～

中郡小学校では、昨年度から、6月を「命について考える月間」と設定し、様々な視点から命について学習する機会を設けています。



<命の授業 6月11日>

講師として、「いぬじゅん」さん（介護福祉士、小説家）をお招きし、1～3年生、4～6年生に分けて、「命を輝かせ自分らしく生きる」をテーマに命の授業を行いました。

御自身が小説のテーマとしている「生きること」「死ぬこと」を切り口として、「『生きる』とは?」「『自分が生きているなあ』と思うのは?」等、子供たちに問いかけながらお話をいただきました。

「いろいろな『生きているなあ』を見つけることで『生きる(死ぬ)』の意味が分かる」「『ああしておけばよかった、こうしておきたかった』など、後悔を残さないように生きることが大切」「自分や周りの人が、今こうして生きていることは奇跡。だから、当たり前と思わず、周りの人に感謝を伝える」等のメッセージが伝えられました。

一人一人、自分の生き方を見つめる視点を学ぶことができました。

読書を通して心を育む

本校では、図書室を「にこにこ館」と呼んでいます。子供たちが楽しく本を読み、読書に親しむことによって気持ちを和らげる、そんな場所になるようにとの願いから付けた呼び名です。その名の通り、掲示や本の展示など、足を運びたくなるような環境づくりがされています。各学年にも小さい書架があり、授業の内容に合わせて図書が配架され、学習の中で積極的に活用しています。さらに、学年ごと、読んでほしい本を「必読図書」として選定し、読破した冊数に応じて、「ブックチャレンジ」「ブックマスター」「ブックゴッド」と段階を設けて、校長室で表彰しています。今年度は、すでに7名の子供がブックチャレンジを達成しました。

スマホやタブレットなど、デジタルの利用が増え、活字離れが進んでいるといわれていますが、子供たちには、読書を通して、わくわくドキドキする気持ちを味わったり、新しい世界と出会って興味を広げたりしてほしいと思います。



<ブックチャレンジ達成 第1号>

(校長)